

**花田清輝** 評論家。華麗なレトリックの特異な評論で、<敗戦>後の文化運動に大きな影響を及ぼした。

はなだきよてる

伊藤博文暗殺1909 = 福岡市生れ。

明治天皇没・1912 = 3歳：

本格政党内閣1918 = 9歳：

原敬首相暗殺1921 = 12歳：

金融恐慌・・・1927 = 18歳：  
福岡中学，  
七高を経て，

満州事変・・・1931 = 22歳： 京都帝国大学英文科選科在学中，{サンデー毎日}の小説募集に応じて「七」が入選。

国際連盟脱退1933 = 24歳： 中退し，上京。新聞広告見て，朝鮮独立の運動家李東華の秘書となり，その自伝を口述筆記，

帝人疑獄事件1934 = 25歳： 完成。政友会代議士の選挙応援や論文代筆のアルバイト。

芥川直木賞始1935 = 26歳： 結婚。李東華とともに，満州の朝鮮人居住区に行き，{我観}に「朝鮮民族の史的変遷」を執筆。

二二六事件・1936 = 27歳： {東大陸}に「銀價の動きと支那の諸階級」を執筆，以後，継続的に執筆し続ける。

日中戦争始・1937 = 28歳： {世代}に「心理と論理」を発表。

第二次大戦始1939 = 30歳： {東大陸}に入社し，編集に当る。中野秀人らと<文化再出発の会>を結成し，

大政翼賛会・1940 = 31歳： {文化組織}を創刊し，以後毎号評論を発表し，{東大陸}を退社し，{林業新聞社}に勤務。

日米開戦・・・1941 = 32歳： 第1評論集「自明の理」を出版。以後も連作エッセイ書き続けるが，

・・・1942 = 33歳： {林業新聞社}を退社し，{サラリーマン社(のちの自由国民社)}に入社。

創価学会検挙1943 = 34歳： 文芸時評で三浦義一を批判し，大東塾同人らに暴行を受ける。用紙統制で終刊し，会も解散。

年金+総武装1944 = 35歳： 「小林秀雄」を発表。{軍事工業新聞(のちの日刊工業新聞)}に入社，

敗戦・・・1945 = 36歳： 退社し，敗戦後，同志と，総合芸術協会設立構想。依頼され{近代文学}創刊号に「変形譚」執筆。

新憲法公布・1946 = 37歳： 「戦前の論を編成した「復興期の精神」を出し，注目される。新日本文学会に入会。

新憲法施行・1947 = 38歳： 総合文化協会が設立となる。{近代文学}同人。評論集「錯乱の論理」出版。岡本太郎と知り合い，

極東裁判決・1948 = 39歳： 岡本と軸になって{夜の会}を結成。{新日本文学}編集委員。

三大事件・・・1949 = 40歳： 「二つの世界」刊行。月曜書房{戦後主要作品全集}編集に協力し刊行。日本共産党に入党。

朝鮮戦争始・1950 = 41歳： {夜の会}解散。岡本と{アヴァンギャルド芸術研究会}を発足させるなど，戦後の文化運動に影響を与え，

独立回復・・・1951 = 42歳： ケストラー「真昼の暗黒」めぐり，{近代文学}同人塩谷雄高らと意見対立，山室静らと論争へ。

メデー事件・1952 = 43歳： {新日本文学}編集長となり，革新的な取り組みをするが，

自衛隊発足・1954 = 45歳： \*宮本顯治に批判され，罷免される。「アヴァンギャルド芸術」，

55年体制始・1955 = 46歳： 高見順と「ゴロツキ論争」，山室らと「モラリスト論争」始まる。

国連加盟・・・1956 = 47歳： 「モラリスト批判」。「芸術運動の今日的課題」出版し，吉本隆明との論争始まる。「さちゅりこん」。安部公房らと{現代芸術研究会(記録芸術の会)}を始める。

なべ底不況・1957 = 48歳： 「大衆のエネルギー」などを通じて，芸術運動の新方向を開拓し，

美智子妃・・・1959 = 49歳： 戯曲「泥棒論語」は，俳優座劇場で公演され，第1回週刊読売新劇賞。

安保闘争・・・1960 = 51歳： 評論集「近代の超克」，

以後は小説をも執筆し，

全国総合計画1962 = 53歳： 「いろはにほへと」。\*「烏獣戯話」で，毎日出版文化賞。

TV宇宙中継始1963 = 54歳： 戯曲「爆裂弾記」，

東京初レヱカ1964 = 55歳： 戯曲「ものみな歌でおわる」も知られ，

いざなぎ景気1966 = 57歳： 「花田清輝著作集」全7巻完結。

美濃部都知事1967 = 58歳： 「小説平家」などがあり，文学における自閉症的な孤独を冷笑する風刺精神は，そのレトリックとともに，ひととき異彩を放って，

日中国交回復1972 = 63歳：

石油ショック1973 = 64歳：

角栄金脈辞任1974 = 65歳： \*小説「日本のルネッサンス人」を最後に，脳出血のため，没した。